

目 次

I. 総括研究報告書（別添 3）

化学物質のヒト健康リスク評価における（定量的）構造活性相関および、 カテゴリーアプローチの実用化に関する研究_____	1
本間 正充	

II. 分担研究報告書（別添 4）

エームス変異原性の予測精度の向上に関する研究_____	1 3
本間 正充	

In vivo 遺伝毒性試験 QSAR の開発；新規 in vitro 染色体損傷アラートの抽出とその in vivo 染色体損傷アラートへの適用_____	2 7
森田 健	

構造活性相関モデル構築手法の比較と利用に関する研究_____	4 1
小野 敦	

反復投与毒性を指標にした構造活性相関モデルに関する研究_____	5 3
広瀬 明彦	

反復投与毒性のカテゴリーアプローチモデルの開発_____	6 9
山田 隆志	

III.研究成果の刊行に関する一覧表（別添 5）_____	7 9
-------------------------------	-----